に努め、早期完成をめざしてまいります。またこれに合わせて、西口交通広場、東口駅前広場の整備を進めていく考えであります。

次に農業、とりわけ厳しい状況下にある稲作農業についてであります。

過去最大の生産調整、新しい農業基本法づくり、本年四月からのコメ関税化、そして二〇〇〇年度からの生産調整の大幅見直しなど、コメを取り巻く環境は激しく変化しています。また、市場の競争原理、規制緩和、優勝劣敗という価値観は、コメを例外扱いすることなく作物を商品にしていくことを求めています。

農業は循環型地域社会の手本に

こうしたなか二十一世紀のコメづくりをどうしていくのか、農業者自身が考え、自らの責任で進むべき道を選択するものでなければ、いわゆる足腰の強い農業は望めません。

ご案内のように当市におきましては、農業経営体の強化・育成をはかるべく、農業構造の近代化策を推し進めてまいりました。また多くの事業を導入し、生産基盤の整備にも努めてまいりました。さらには、生産調整面積の大幅な上積みがあった本年度は、種々の対策に最大限の意をはらったつもりであります。ここでご理解いただきたいことは、これらの施策は自らの生業を自らの力で切り拓いていただくための手段として用意されたものであるということであります。

新年度から両新地区でも取り組むこととしております圃場整備事業を例にとりますと、事業そのものはあくまでも手段であって、目的はコメづくりに励む人々の安定した生活であります。農業者も行政も、こうした時代であればなおさらのこと、「なぜ今」「何の目的で」という原点を見失わないようにしていかなければならないと考えております。

以前申し上げましたように、農業は土づくりに始まって、生産、加工、販売まで一貫して手がつけられる産業です。また、都市の廃棄有機物を農村が土に戻し、そこで収穫された作物を都市に送る、いわゆる循環型地域社会の構築は農業が手本を示すことができます。そして、この循環型地域社会は「農村と都市の共生する社会」を意味しますから、互いの利益につながることが期待できます。

SLの復活で交流と連携を

一自治体でできることには限界があることも確かでありますが、行政といたしましても意欲ある農業者を積極的に支援し、コメづくりを何とか魅力ある産業にと考えているところであります。

さて本年四月二十九日から、新津・会津若松間でSL『C57－180』が復活します。このSLは、現役を引退した昭和四十四年から第一小学校校庭で静態保存されてきました。再び勇姿を目にできますことは誠に感慨深いものがあると同時に、ご尽力された関係者の皆さんに、心から敬意と感謝の意を表したいと思います。

SLの復活は、人、モノ、情報を確実に動かします。そして、その過程で生まれるエネルギーは、それぞれの都市が持つ文化、個性に新たな価値を付加するとともに、埋もれていた価値をも掘り起こしてくれるものと考えております。

新津の個性、役割を再確認し、活性化に向けた夢と希望をこのSLに乗せてみたいと考えております。

SLの復活、また、近年の高速交通体系の整備、情報化・グローバル化の進行は、今後、人や企業の活動範囲をますます幅広くし、生活スタイルを多様化させていくものと思っております。そこでこれからは、よそのまちの個性を認め交流を深め合うなかで一体的発展をめざす「都市間連携」が、活力あるまちを築くうえで極めて重要なキーワードになると理解いたしております。

新津市は、自然や歴史の匠の力を借りて新津だけのものを育ててまいりました。この「新津だけのもの」に誇りとこだわりを持ち続けながら、鉄道、川、道を交流軸とした連携を積極的に推し進めていく考えであります。

豊かな人間味と文化の薫るまちに関する主な事業

- 県営担い手育成基盤整備事業負担金…205万円
  両新地区の大区画圃場整備のため地形図を作成します。
- 農村総合整備事業…1億1989万円
  東部地区の農道や農村公園の整備を進めます。平成十二年度に完成する予定です。
- 基盤整備促進事業（農道型）…5050万円
  大秋地区の農道整備を進めます。
- 緊急生産調整推進対策事業…3892万円
  減反百万達成に向けて、転作達成者に対して補助します。
- 新津観光協会事業補助金…1500万円
  四月二十九日に行われるSL・C57－180号の出発式など観光宣伝に助成します。
- 磐越西線SL定期運行推進協議会負担金…38万円
  この協議会は、磐越西線沿線の自治体と商工会議所で組織され、SLを媒体として地域連携と広域的観光交流を行うものです。

4

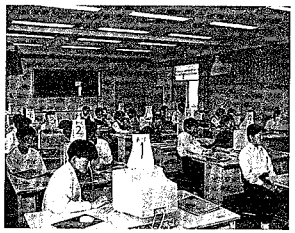
豊かな人間味と文化の薫るまち

ふるさとに在ってふるさとを愛し、心豊かな市民性を培い、美しい地域社会を築くところに未来のまちづくりが開かれるものと考えます。このため、人間教育をめざす学校教育をはじめ生涯学習や文化振興の重要性を認識し、その環境づくりを進めてまいります。

まず、学校教育に関する施策でありますが、引き続き滴日小学校の全面改築に取り組むほか、新たに金津小学校の大規模改造に着手することといたしました。また、老朽化した施設・設備につきましては改善に意を用い、良好な教育環境の整備に努めてまいります。

さて、中央教育審議会は、昨年「教育の地方分権」を進めるよう文部大臣に答申しました。その中で注目しております点は、地域住民が学校に積極的にかかわる意義を強調し、それぞれの学校が自主的、自律的に特色づくりに励むよう求めたことであります。

ご案内のように新津市には、豊富な人材と恵まれた自然、さらには独特の歴史、伝統、文化があります。これらの地域資源をどうしたら学校教育の場に生かし子どもたちに感動を与えることができるか、私の意識の片すみには絶えずこのことがありました。それだけに、教育現場に柔軟な発想と実行を求めたこのたびの答申を率直に歓迎するものであります。十一年度予算に計上いたしました「学校支援ボランティア事業」や「里山ふれあい学習推進事業」は、こうした考えからご提案申し上げるものであります。


中学校のコンピュータを取り替えていきます

わが国の教育は、長い間「画一的」とか、あるいは「横並び」「指示待ち」と評されてきました。しかし、自主的、自律的な学校運営は、個性豊かな学校をつくると同時に地域と学校の絆を強固にし、やがては地域ぐるみで子どもを包み込む環境を甦らせ、結果として不登校、いじめ、非行等の問題解決につながっていくのではないかと考えているところであります。

このほか拡充をはかった主な事業でありますが、各中学校の教育用コンピュータを年次計画的に更新し、情報基礎教育の充実をはかってまいります。また、市之瀬幼稚園で三歳児保育を開始することといたしました。

次に、生涯学習の振興であります。

昨年の施政方針でも述べましたように、旺盛な学習意欲は自身の人生を豊かにするだけでなく、環境、福祉をはじめとする今日的課題と向かい合う力を育むことになると認識しております。そこで、各種の教養講座、市民大学、新潟大学公開講座、文化イベント等々にさらに創意工夫を加えるとともに家庭教育学級を再開するなど、子どもの健やかな成長を願った学習機会にも意を用い、市民の皆さんが学ぶ喜びを実感し、力をつける場にしていきたいと考えております。

スポーツ活動に応える施策としましては、引き続き小中学校の児童・生徒を対象に「アルビレックス」によるサッカー教室を開設することといたしました。また、好評の「シティカップサッカー選手権大会」と「国際ユースサッカー・イン新潟」につきましても継続してまいります。

美術館の関係では、現代のデザイン界をリードするイタリアのデザイナー「ソトサス」に照準を合わせた企画展のほか、二回目となる「秋山庄太郎写真展」、身近な美術展などを開催し、市内はもとより全国に、さらには世界に発信できる美術館運営にこだわっていきたいと思っております。また、隣接する植物園、埋蔵文化財センター、中野邸美術館との連携を強め、魅力ある文化ゾーン形成の一翼を担ってまいりたいと考えております。

少年たちの活躍の場・新津シティカップ

ところで近年、生涯学習に対する行政需要は、高度化、多様化、増大化をたどっております。そしてこれらの需要に対応する過程では、ややもすれば「出あい、ふれあい、学びあいの場の提供」といやりの心を育みます。

豊かな人間味と文化の薫るまちに関する主な事業

- 滴日小学校校舎・屋体改築事業…2470万円
  平成十年度から全面改築を進めています。この経費で初度備品を購入します。
- 金津小学校校舎大規模改造事業…5600万円
  老朽化して開閉できなくなっている窓枠や外壁の改修を行います。
- 学校支援ボランティア事業…38万円
  学校をサポートする保護者や地域住民などの市民ボランティア活動を支援します。
- 里山ふれあい学習推進事業…11万円
  里山でのフィールドワークを通じ、自然との共生や自然環境学習などの情操教育を行います。
- チャレンジ21教育推進運動事業…772万円
  いきいきスクールステップアップ事業の取り組みを活かし、さらに家庭や地域との連携を充実させ、豊かな心と思いやりの心を育みます。